



檜原学園
Hinohara Gakuen

檜小だより

檜原学園檜原小学校



1月号

令和5年度

1月9日(火)

本年もよろしくお願ひいたします

校長 下川 耕史

明けましておめでとうございます。昨年度は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類に移行し、様々な教育活動への制限がほとんどなくなりました。コロナ以前と同じような教育活動が戻ってきたと感じる以上に、人とのつながりが生み出すものの尊さを実感しております。教室の中で友達と過ごしていても、ソーシャルディスタンスをとり、対面での作業に気を使わなければならない状況に比べ、相手の表情を見ながら自由にコミュニケーションが取れる幸せを感じたことが第一。学校外での交流の機会も増えました。保育園児やお年寄りと、交流や発表の場が増えた喜びはもちろん、普段とは違う相手を意識できたことで、子供たちがこんなにも生き生きとし、成長していくのだと、改めて驚かされました。

11月にはマラソン大会がありました。檜原ならではの、ロードで白バイに先導してもらい、地域の方々にも応援していただける、コロナ禍でも続けられた素晴らしい行事です。マラソンはなかなか子供たちには受けが悪いことが多く、練習中や本番前には「マラソンやだな…」という声がよく聞こえてきます。しかし、大勢の人に応援してもらいながら本番を走り切った後、子供たちはみんないい顔をして帰っていきます。たくさんの方々にご協力をいただき、周りの人とのあたたかな絆を実感できたからでしょう。実はこの後の12月9日に、しばらくコロナ禍で中止となっていた、秋川流域子供体験塾実行委員会主催の駅伝大会も久方ぶりに行われました。ここでの子供たちの活躍も素晴らしかったので、ぜひご紹介したいと思います。

学校では、マラソン大会の取組と併せて、高学年児童にイニシアティブをとってもらいながら有志でチームを組み、大会に向けた駅伝の指導もしております。子供たちは友達同士支え合い、チームのためにモチベーションを高め、練習から熱心に取り組めます。前述のようにマラソンに苦手意識のある子もおりますが、チームや下学年のことも意識して、子供たちは毎年がんばっていました。この取り組みは、コロナ禍で大会がない年もずっと続けてまいりましたし、大会の代わりに教育委員会に協力をさせていただいて、秋留台公園で実際に走ることもしました。子供たちの競争相手にと、教員チームや教育委員会チームが参戦したこともありました。それがとうとう、今年度は大会が復活する運びとなり、あきる野市、日の出町、檜原村から、3年生以上で64チームもの出場がありました。全校児童数が少ない檜原小学校からも、なんと4チームも出場したのです。子供たちはみんな、練習でも手を抜かず、一生懸命に走っていましたが、本番の力はすごいものです。多くの子が練習よりも30秒近くタイムを縮め、1分近くタイムを縮めた子までいました。大会という大舞台、熱気あふれる会場、大勢の応援、そしてたくさんのライバルたち。そんなつながりが、子供たちの心に火をつけ、大きく成長させたのだと感動しきりでした。子供たちも、もちろん大満足で帰って行きました。制限のない、つながりの中で行われる広がりのある教育活動、これからも期待大です。

今年の干支は辰年ですが、本来の干支は十干と十二支を組み合わせた60種類あり、2024年の正式な干支は十干の「甲」と十二支の「辰」が組み合わさった「甲辰（きのえたつ）」というのだそうです。「甲」は甲冑の「甲」の文字から鎧や兜を連想させ、種子が厚い皮に守られて芽を出さない状態や、物事に対して耐え忍ぶ状態を表す文字です。また、生命や物事の始まり、成長も意味します。辰は「振るう」という文字に由来しており、自然万物が振動し、草木が成長して活力が旺盛になる状態を表します。今年は正に、コロナ禍を耐え忍んだ後に迎えた飛躍の年といえそうです。子供たちの大いなる成長のために、今年も本校の教育活動にご理解とご協力をよろしくお願ひいたします。

1月の生活目標

きまりを守って生活しよう

冬休みが終わり、一年で最も寒い季節がやってきました。寒さの厳しい時期は、体調を崩しやすくなります。ご家庭でのお子様の健康管理につきまして、ご協力をどうぞよろしくお願い致します。

1月の生活目標は、「きまりを守って生活しよう」です。学期のはじめの生活目標は日常生活の大切なことを目標にしています。生活をしていくうちに変わっていくきまりや忘れてしまったきまり等を学校全体で確認することで、これからも全ての子供たちが健康・安全に生活することができるよう、学習・生活を進めていきたいと思ひます。ご家庭でも登下校のやくそく等、一緒に確認していただければと思ひます。

生活指導部

科学展

1月19日(金)～1月21日(日)の3日間、昭島駅より徒歩10分程の所にある「アキシマエンス」にて『令和5年度東京都小学生科学展』が開催されます。

本展では、東京都内の各自治体から推薦を受けた1名の作品が展示されます。檜原からは6年生志村優和さんの「檜原村に生息するヘビについて」を出展しました。

卒業生や東京都レンジャーの方々にも御協力いただきながら、檜原村におけるヘビの生態を通して、檜原村の自然に関する研究をすすめてきました。

「自然」を学ぶために最適な場所「檜原村」で、今後も子供たちから「調べたい」という意欲が高まるような指導を続けていきます。



なわとび月間

1月15日(月)からなわとび月間が始まります。この期間は、休み時間に全校でなわとびに取り組み、新しい跳び方に挑戦したり、跳ぶ回数を増やせるように練習したりします。

体育の授業でも使う「なわとびチャレンジカード」を活用しながら、技術の向上はもちろん、筋力・持久力を高め、調整力を養っていききたいと考えています。

また、継続して取り組めるよう声掛けをし、最後には自主的に取り組めたか振り返りも行う予定です。



ユニセフ募金活動

11月29日、30日に実施したユニセフ募金活動では、皆様のご協力ありがとうございました。おかげさまで、今年度は檜原学園全体で、**¥41,513円**の募金が集まりました。檜原中学校生徒会と共同でユニセフへ送金を行います。皆様の善意が、世界の子供たちへ届き、笑顔をうむことを願っています。企画委員会担当

学校評価へのご協力ありがとうございました。

学校評価アンケートをご提出いただき誠にありがとうございました。皆様からいただいたご意見は、今後の学校作りに活かしていきたいと思ひます。学校評価のまとめにつきましては、1月15日(月)配布予定です。

展覧会・書写展及び西多摩郡連合図工展のご案内

1月19日(金)、20日(土)に「展覧会・書写展」を行います。会場は、体育館です。当日、学校公開等はありませんが、是非ご来校ください。特に20日(土)はお子さんと一緒に来ていただき、作品の紹介などをしてもらうことをお勧めします。詳細については12月20日付のお知らせをご覧ください。

また、1月27日(土)～1月28日(日)には、西多摩郡連合図工展を開催する予定です。今年度も、日の出イオンホールにて行います。詳細については後日、開催案内を配布しますのでそちらをご確認ください。檜原小学校は全児童の図工作品を展示いたします。保護者の皆様のご来場をお待ちしております

